

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	国語	科目	言語文化	学年	第1学年	類型	
単位数	2単位	教科書	新 言語文化 （三省堂）				
補助教材	常用漢字ダブルクリア 五訂版（尚文出版） カラー版新国語便覧（第一学習社）						

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
------	--

学期	月	単元（学習項目）	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	千年の時が与えてくれる安堵 枕草子 春はあけぼの／ありがたきもの	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。	中間考査 期末考査
	5月	作家とよむ「枕草子」	時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について認識を深めることで、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。	
	6月	故事 虎の威を借る	返り点の意味や書き下し文の作り方など、中学校時代の復習をしつつ、漢文がもつ独特のリズムに親しむ。	
	7月	沙石集 児の飴食ひたること	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。	
2 学期	8月	故事 朝三暮四 伊勢物語 芥川 羅生門 和歌十首 小倉百人一首より	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	中間考査 期末考査
	9月		最古の歌物語を読むことで、我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。	
	10月		登場人物の心情や考え方の変化を追うことを通して、物語の展開を把握する。	
	11月			
	12月		和歌を読んで内容を把握し、百人一首の団体戦を行うことを通して、継承されてきた言語文化に直に触れる。	
3 学期	1月	なめとこ山の熊	現代の小説を読むことを通して、人と自然・社会との関係や人の生き方について考える。 比喩や暗示を分析することを通して、言語表現の多様さを捉える。	学年末考査
	2月	先従隗始		
	3月			

学習の方法	漢字学習にしっかりと取り組みましょう。事前学習では、言葉の意味を調べたり、辞書を活用したりしながら語彙を増やしていきましょう。授業中は大事なところをメモしながら、丁寧に文字を書くように心掛けましょう。古典は音読を大切にしましょう。普段から読書をしたり、新聞やニュースに触れたりして、文章を読む習慣を身に付けましょう。
-------	--

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		